

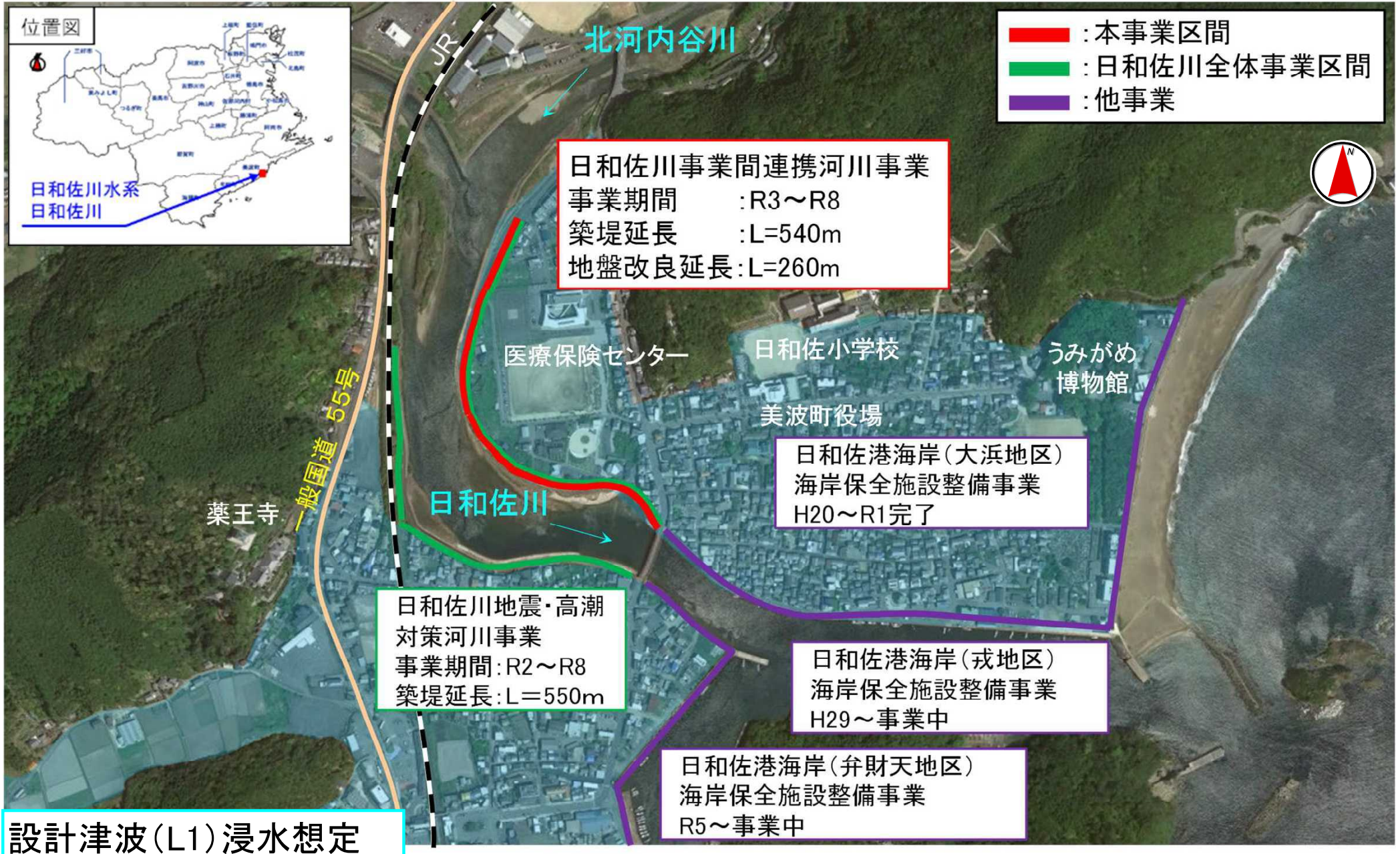
再評価【番号9】 河川整備課

事業間連携河川事業

二級河川日和佐川水系 日和佐川

1. 河川の概要

美波町奥河内寺前～奥河内井ノ上



2. 事業概要

全体事業費

10.0億円(2.5億円増)

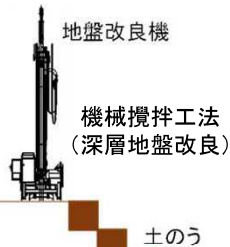
【変更理由】

地盤改良時に転石が発生したことで、試掘調査・撤去工事の追加により工事費が増となったため



薬王寺

地盤改良 施工方法



掘削

転石

⇒ 破碎・運搬

完成時期

令和8年(変更なし)

谷川

- 築堤
- 地盤改良

- : R2~R6実施
- : R7実施
- : R8以降残
- : 日和佐川
- : 全体事業区間
- : 他事業

(左岸)築堤延長 L=540m
地盤改良延長 L=260m

日和佐川

(右岸)築堤延長 L=550m

日和佐港海岸
(弁財天地区)

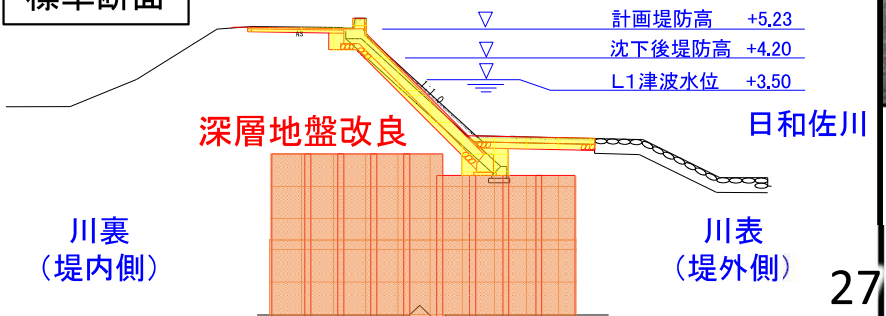
日和佐港海岸
(戎地区)

日和佐港海岸
(大浜地区)

写真



標準断面



《進捗率》

事業費: 54%・用地: 100%

3. 整備効果

貨幣換算可能な整備効果

【治水経済調査マニュアルによるB/C】

- ・ 家屋、事業所等被害
- ・ 農作物被害
- ・ 公共土木施設被害
- ・ 営業停止被害
- ・ 応急対策費用 など

↓ 被害軽減期待額
= 便益 B

計 42.1億円
(現在価値化後)

費用 C = 24.4億円
(現在価値化後)

$$\frac{B}{C} = 1.7 \quad (\text{社会的割引率 } 4\%)$$

参考

$$\frac{B}{C} = 2.8 \quad (2\%)、3.6 \quad (1\%)$$

【「水害の被害指標分析の手引き」による効果】

経済被害の域内・外への波及被害



水害1回当たり
5.75億円の被害を軽減

水害廃棄物の処分



水害1回当たり
0.22億円の被害を軽減

水害1回当たり被害軽減額
= 5.97億円

4. 多様な効果

貨幣価値に表れない整備効果

人的被害の軽減

浸水区域内人口	813人
浸水区域内の災害時要援護者数	457人
最大孤立者数	674人

医療・社会福祉施設等の機能低下による被害軽減

機能低下する医療施設数	3医院
機能低下する社会福祉施設数	5施設

防災拠点施設の機能低下による被害軽減

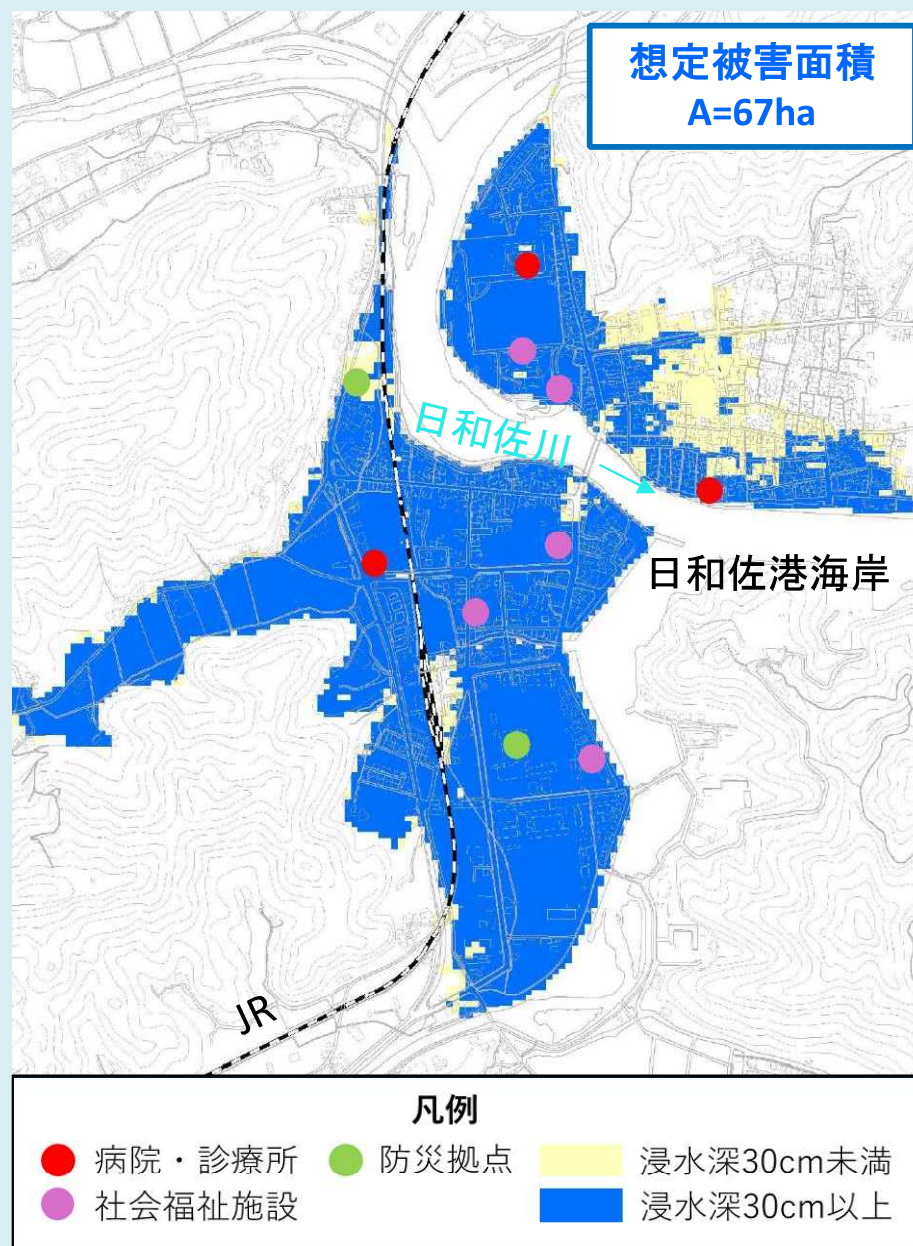
機能低下する主要な防災拠点施設	2施設
-----------------	-----

→災害発生時の機能維持

ライフライン停止による波及被害の軽減

電力の停止による影響人口	411人
ガス停止による影響人口	283人
通信(固定)の停止による影響人口	418人

→住民生活環境の維持



5. 事業評価結果

貨幣換算可能な整備効果

【治水経済調査マニュアルによるB/C】

- ・ 家屋、事業所等被害
- ・ 農作物被害
- ・ 公共土木施設被害
- ・ 営業停止被害
- ・ 応急対策費用 など



被害軽減期待額

= 便益 B (現在価値化後)

計 42.1億円 (現在価値化後)

費用 C = 24.4億円

$B / C = 1.7$ (社会的割引率 4%)

参考 $B / C = 2.8$ (2%)、 3.6 (1%)

出水 1 回当たり被害額 = 5.97億円

(経済の波及被害、廃棄物の処分費等)

貨幣価値に表れない整備効果

【「水害の被害指標分析の手引き」による効果】

人的被害の軽減

- ① 浸水区域内人口の減少
- ② 浸水区域内災害時要援護者数の減少
- ③ 浸水区域内最大孤立者数の減少

医療・社会福祉施設等の機能低下による被害軽減

- ① 機能低下する医療施設数
- ② 機能低下する社会福祉施設数

ライフライン停止による波及被害の軽減

- ① 電力の停止による影響人口
- ② ガス停止による影響人口
- ③ 通信の停止による影響人口

■ 今後の対応方針 (案)

事業継続